

資格認定委員会から

1 認定心理士について

8月は認定委員会の開催がなく、新たな審査は行われませんでした。払い込みの状況などから若干増加を見ました。2024年9月30日現在、2024年度の初回審査数は1,675件、総審査数は1,741件、認定可の件数は1,616件とこれらは前回報告と変わりませんが、今年の資格取得者総数は1,562名と前回報告時より300名近く増え、この結果、資格取得者累計は、75,187名となりました。

2 認定心理士（心理調査）（通称：心理調査士）について

心理調査士につきましても、8月の認定委員会は開催されませんでした。払い込みがあったために、2024年9月30日現在までの集計によりますと、初回審査92件、総審査数94件、認定可の件数51件は変わりませんが、資格取得者数は31件から50件に、資格取得者の累計は、577名から596名に増加しました。

3 その他

この間、認定心理士システム検討小委員会の第2回目を開催し、システムの新設定と共に、改訂にふさわしい新基準の可能性と、審査の解明化についてのアイデアを話し合いました。方向性について、2024年10月19日開催の常務理事会でも了承されました。作業を円滑化し、事務負担も減り、申請者に対する公正さを高めるためには、認定の原則を明確化し、オープンにしていこうと、各大学のカリキュラム策定の現場においても容易に情報にアクセスし、確認がなされやすいようにしていく必要があると考えています。大学でご担当をされて、カリキュラムをまとめて日本心理学会に送ってくださっている日頃のご労力に改めて感謝申し上げます。煩雑な作業のなか、細かい認定には基準を明確化し、ある程度は厳格適用していく必要があります。幸い、この間、

世の中の支持を得て、心理学部など心理学関係の学部・学科、また、心理学関係のコースを含む課程も増えております。また、公認心理師制度の実施に伴い多くの現場において、開設科目も多様化しており、認定心理士資格の観点から見れば、在籍学生が適宜それらの科目を履修していけば、要件を満たすことも容易になっている印象があります。そのため、ひとつの領域で取得しなければならない現制度の「4単位」を減らして、代わりに少し履修領域拡大（4領域など）を図ることも検討の俎に乗るアイデアのひとつとなっております。また今後の審議などを経ていくものですが、現実の学生たちの不利益にならないように、また大学の不都合にもならないように、現実の制度に即して本来の目的に適う広い範囲の基礎学習を満たす認定心理士へと無理なく認定システムを構築できればと考えて、作業にあたっております。

ご関心の向きには、ぜひ積極的に認定委員として関わっていただきたいと思っております。

また、資格取得後、この資格を持つことの有意義性を高めるために、現在は無料で「認定心理士の会」へのご加入を薦めており、年間広く開催されますシンポジウムへの参加などの生涯学習の機会を提供しております。その他のご要望などのアイデアも募るところです。そうした企画のひとつである日本心理学会大会時に今年は初めて新刊連動講座を大会企画として執り行い、また、「災害と避難」をめぐるシンポジウムを開催しました。邑本俊亮先生、前田楓先生、矢島潤平先生に話題提供としてご登壇いただき、河原純一郎先生、河地庸介先生の企画・司会のもと、盛況に行われました。引き続き、地域の運営委員、幹事と協力をしながら、企画を立案、実施していこうと考えております。ご参加、ご支援のほど、よろしく願いたします。

（資格担当常務理事／東洋大学教授 北村英哉）

編集後記

今回の特集である「行動主義を見つめ直す」は、編集委員のお誘いをいただいた時からやってみたく思っていたテーマでした。委員になって初めて出した、正直に言って荒削りな特集案を、編集委員会の先生方が美しく磨き上げてくださいました。読者の皆さんにも面白い！と思っただけのような特集になっているでしょうか？ 読者アンケートも始まりましたので、どうぞお気軽にご感想をお寄せください！ 皆さんからのご感想が誌面作りの強化子になります！（福田実奈）

編集委員

編集委員長

片山順一（関西学院大学）

副委員長

松田いづみ（青山学院大学）

委員

牛谷智一（千葉大学）

大北 碧（甲南女子大学）

川島大輔（中京大学）

蔵永 瞳（滋賀大学）

坂田陽子（愛知淑徳大学）

東海林渉（東北学院大学）

野内 類（人間環境大学）

野村和孝（北里大学）

橋本博文（大阪公立大学）

福田実奈（北海道医療大学）

森本裕子（人間環境大学）

担当常務理事

原田悦子（筑波大学／イデアラボ）

